

ワクチンQ&A



Q

ワクチンには、どのようなものがありますか？

A

病原体(ウイルスや細菌など)そのもの又は、病原体を構成する物質などをもとに作ったワクチンがあります。

Q

ワクチンの投与方法には、どのようなものがありますか？

A

日本では、ワクチンの大部分が皮下注射で投与する**皮下接種**ですが、口から飲む**経口接種**や皮膚にスタンプのように接種する**経皮接種**、筋肉注射で投与する**筋肉内接種**もあります。



ワクチンの種類

種類	生ワクチン	不活化ワクチン	トキソイド
特徴	ウイルスや細菌等の病原性を極度に弱めた(弱毒化した)もの。	細菌やウイルスを、ホルマリン処理などによって病原性(毒性)をなくしたもの。	細菌が作る毒素を、ホルマリン処理などによって毒性をなくしたもの。
	自然感染に近い状態で免疫がつけられるため、効果が得られやすい。	複数回の接種が必要。	複数回の接種が必要。
例	・麻しん(はしか) ・風しん ・麻しん風しん混合(MR) ・水痘(みずぼうそう) ・おたふくかぜ ・黄熱 ・BCG(結核)→経皮接種 ・ロタウイルス→経口接種	・百日咳 (DPT-IPV:四種混合、DPT:三種混合) ・日本脳炎 ・インフルエンザ ・A型肝炎→皮下/筋肉内接種 ・B型肝炎→皮下/筋肉内接種 ・インフルエンザ菌b型(ヒブ) ・13価結合型肺炎球菌→皮下/筋肉内接種 ・23価莢膜ポリサッカライド肺炎球菌 ・ヒトパピローマウイルス→筋肉内接種 ・狂犬病→皮下/筋肉内接種 ・不活化ポリオ ・髄膜炎菌→筋肉内接種 ・带状疱疹ワクチン→筋肉内接種	・ジフテリア・破傷風混合 (DTトキソイド:二種混合として) ・成人用ジフテリア ・破傷風→皮下/筋肉内接種

* 表に投与方法の記載がないワクチンは**皮下接種**

* D: ジフテリア、P: 百日咳、T: 破傷風、IPV: ポリオ

Q

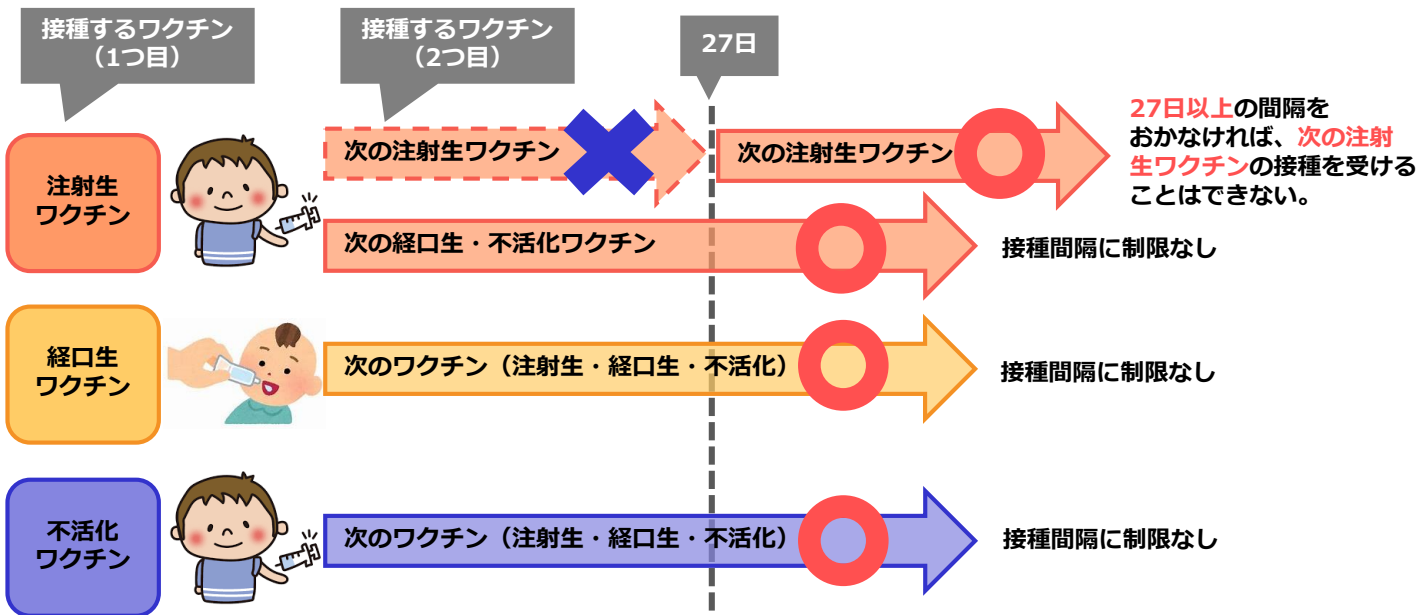
異なるワクチンを接種する場合、どのくらいの間隔を空ければいいですか？

A

注射生ワクチンは接種後27日以上の間隔をおかなければ、次の注射生ワクチンの接種を受けることはできません。それ以外のワクチンの組み合わせでは、前のワクチン接種からの間隔に関わらず、医師が認める場合、次のワクチンの接種を受けることができます。



2020年10月1日からの「異なるワクチンを接種する際の接種間隔ルール」



Q

新型コロナワクチンは、どのようなワクチンですか？

A

製薬会社によって種類は異なりますが、mRNAワクチン、ウイルスベクターワクチン、組み換えタンパクワクチンがあります。

